

陸上無線通信委員会 報告（案）に対する意見募集の結果及び当該意見に対する陸上無線通信委員会の考え方
 ー「小電力の無線システムの高度化に必要な技術的条件」のうち
 「920MHz 帯小電力無線システムの高度化に係る技術的条件」ー
 （意見募集期間：令和元年 12 月 7 日～令和 2 年 1 月 6 日）

提出件数 2 件（法人 0 件、個人 2 件）

No.	意見提出者	提出された意見	意見に対する考え方	修正の有無
1	個人	<p>「920MHz 帯」における構造では、「周波数ホッピング（FH）」の導入の事と思いますが、レーダー波の様な「送受信及び処理能力」の「機能（ファンクション）」と思いますので、「アンテナ及びチューナー（レシバー）」における「エリア（セクター）」での区分の設置が必要な構造と、私し個人は思います。例えばですが、「920MHz 帯」における「テレメーター、スマートメーター、センサーネットワーク」等の導入には、私は賛成です。具体的には、携帯電話が繋がら無い「山岳地及び海上地」等を「想定（シュミレーション）」とした構造では、「GPS（グローバルポジショニングシステム）」及び「GNSS（グローバルナビゲーションサテライトシステム）」から成る「3GPP 方式（GSM 方式及び CDMA 方式）」の構造を融合する事が必要と思いますので、「FH 方式（フレカンシーホッピング）」の導入における構造と思いますが、「LDC 方式（ローデューティーサイクル）」における構造では、「デューティー比（義務的な周期のサイクル）」での</p>	<p>本件は、レーダーを念頭において検討を行ったものではなく、従来 920MHz 帯小電力無線システムにおいて必要とされているキャリアセンス機能に代わる技術方式として、周波数ホッピング方式及びローデューティーサイクル方式の導入に向けた技術的条件を検討したものです。</p> <p>両方式の導入実現により、920MHz 帯小電力無線システムの更なる普及拡大に寄与するものと考えています。</p>	無

		<p>「PWM（パルス副変調）」のスイッチにおける「ON/OFF」の事と考えますと、「送受信及び処理能力」における「容量（キャパシティー）」の「限界値（リミッター）」を設定して行く事が望ましい構造と、私は考えます。例えばですが、「リーダー及びシグナル（信号）」を融合した構造では、センサー技術における「RFID（IC タグ）」等の導入には、私は賛成です。要約すると、「920MHz 帯」では、レーダー波を基準にしていると思いますので、「ジャミング（レーダー波の妨害）」の対策が必要な構造と、私は考えます。</p>		
2	個人 (1件)	<p>日本放送協会に関する意見（本案に対する意見ではないため省略します。）</p>	<p>本案に対する意見ではありませんが、担当部署に情報提供いたします。</p>	無

(注) 本意見募集に関係のない御意見については、記載を省略しています。